第2回 世論調査結果まとまる

これからの大館市は 商業中心に発展してほしい

市では、今年八月、市内在住の二十歳以上の方を一千五百人選び、第二回目の世論調査を行いました。この調査は、住みよい町づくりを進めるため、市民の皆さんがどのような考えを持っているかをは握するため実施したものです。調査した二十二項目のうちからいくつか取り上げてみました。

十万人以上の都市に

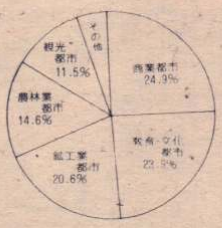
★市の人口規模は

・増えた方がよい　六三・四％
・このままでよい　二九・二％

「増えた方がよい」と答えている方のほとんどが、十万人以上の人口になってほしいと答えています。

★将来はどんな性格のまちとして発展してほしいか

これを年齢別にみると、二十歳代の方は「商業都市」を、三四十歳代の方は「教育・文化都市」、五十歳代の方は「鉱工業都市」、六十歳以上の方は「農林業都市」をそれぞれトップにあげています。



★大館市に住んでいて、総合的にみて満足していますか

・満　足　八・七％
・やや満足　二六・二％
・どちらともいえない　三〇・五％
・やや不満　一九・一％
・不　満　一二・四％

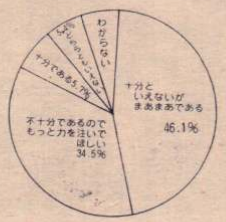
町内の道路を整備してほしい

★あなたの地域にほしい施設や整備を望むものは

・町内の道路　一九・二％
・子供の遊び場　一五・〇％
・公　園　一二・八％
・医療施設　一二・七％
・街灯、防犯灯　一一・八％
・交通安全施設　八・七％
・集会所施設　七・二％
・防火貯水槽　四・四％

前回の調査結果は「子供の遊び場、町内の道路、医療施設…」の順となっており、今回も同じような結果になっています。

★市の行政サービスは十分に行われていると思いますか



★土地利用の基本的なあり方は

・土地の利用は、基本的には所有権者の自由ですが、公共の福祉のために必要な場合に限り相当の代償のもとに優先させるべきである　四四・三％
・土地は所有する人のものであり、公共の福祉のためであっても個人の権利をおさえることはできない　二〇・四％
・どちらともいえない　一七・六％

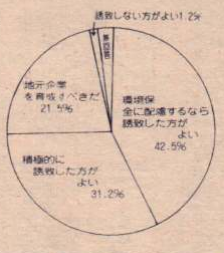
★今後市で建設してほしい福祉施設は

・診療所に併設した特別養護老人ホームの新設　二七・二％
・特別養護老人ホームの増設　二三・一％
・心身障害児(者)の指導育成のための通園施設　一四・三％
・軽費老人ホームの新設　一三・七％
・養護老人ホームの増設　一一・六％

★老後の生活で不安なことは

・健康のこと　三一・五％
・収入のこと　二三・六％
・不安を感じない　一六・九％
・家庭などの人間関係　一一・〇％
・生きがいのこと　一〇・〇％

★企業誘致について



魅力ある商店街にするためには

★大館市の商店街をより良く、魅力あるものにするには

・大型店舗が増えること　二一・四％
・客に対するサービス、店員マナーの向上　二〇・一％
・買物しやすいように商店街を整備すること　一四・八％
・駐車場の増設　一四・六％
・専門店が増えて商店内容が充実すること　一二・六％
・同業店の集団化により店舗の近代化を図ること　九・七％
・レジャー施設や広場を設けること　六・八％

★あなたはスポーツ（運動）をどのくらいしていますか

・全然しない　三九・六％
・年に数回程度　二六・二％
・週に一、二回程度　一三・八％
・月に一、二回程度　一一・七％
・週に三回以上　六・四％

これを年齢別にみると、二、三十歳代の方は「年に数回」、四十歳以上となると「全然しない」という方がトップを占めています。

※調査にご協力いただいた方々には厚くお礼申し上げます。

ナンバー・ワン登場

第六回教育の日 記念論文で最優秀 長崎トモコさん（39歳）

教育の日記念論文には今回が二度目の応募。今年六十六歳になる、鹿角市に住む母親を通し、自分で感じた教育の大事さを書きました。「母の年代の人は若いころちょうど戦争にあたり、私も父を戦争で失い母は苦労の連続でした。一体、何のために生まれてきたのか」と考えていたということ。しかし、最近そのお母さんが、若い人や知らない人に混じって料理教室やゲートボールに参加していること、「楽しくてしょうがない」と話すのを聞き、「いわゆる生涯教育のおかげで生きがいを見つけた母を見て、教育について改めて考えさせられました」と応募した動機を話してくれました。現在、家庭では中学二年の女の子と小学三年の男の子の二児の母。「子どもにとっては、きっと口うるさい教育ママかもしれませんね」と優しい笑顔をみせました。

市長の談話室 No.40

行革論議

収獲の秋ですが、十五号台風、早秋冷で喜びの秋ではありません。これからの農作業などで事故のないよう安全をお祈りします。

どうなるか花輪線

花輪線が開設されて五十周年を迎え、ささやかな祝賀会が十月十七日鹿角市で催されます。これより先、九月十一日盛岡鉄道管理局との懇談会がありましたので、次の事項を要望してきました。

㈠　現在のままでは国鉄は先細るばかりで、国鉄が困ることは市民の困ることです。これを打開するには国鉄がリーダーになって、総合交通体系政策を早急に確立することで、私たち自治体も全面協力をしたい。

㈡　東北新幹線が来年六月開通することにより盛岡駅利用客の見通しを確立し、早急に花輪線対策を確立していただきたい。

㈢　花輪線の利用向上、イメージアップを図るために、線名を仮称「十和田、八幡平線」にしたらどうでしょうか。

㈣　国鉄も縦割行政をやめて、花輪線、阿仁合線を連結し、東北新幹線に連動させるべきではないでしょうか。

以上提案した事項は、盛岡鉄道管理局が本社と協議することになっています。

花輪線を守り、改善するために今後も共に頑張っていきたいと思います。

行革論議

「増税なき行政改革」誠に結構なことです。本当にできるとすれば……。

本質は「できた借金をどうして返すか」であり「誰のための行政改革か」ということです。

とすれば借金の原因とその使った人（大企業）にも増税なしでは公平、平等にならないし、福祉、医療、教育で国民に負担をさせ、自治体が国に変って負担をしろということではないでしょうか。

相変わらずの不況の中、特に公共投資の遅れている東北、とりわけ秋田県、そんな中での行革という名の公共事業が抑制されることになるならば、不況は更に深刻になるばかりか、その克服の時期も更に先に追いやられ、市民生活に大きな不安の影を落とすことになります。

もっとわかり易い、国民のための行政改革であるよう求めていきたいと考えます。

畠山健治郎

国民年金だより

私たちと国民年金

国民年金には、いま大館市で一万六千百二十五人が加入しており、三千二百八十四人が年金を受けています。

国民年金には、農林漁業・商工業やサービス業などの自営業者、五人未満の事業所の従業員と家族が加入の対象になり、二十歳から六十歳までの間、必ず加入しなければなりません。また、サラリーマンの奥さんなどは、希望により任意に加入することができます

国民年金には、老齢、障害、母子、準母子、遺児、寡婦の七種類の年金があります。これらの年金は、物価に応じて改正されますので将来目減りすることがありません。

国民年金の保険料は、一カ月四千五百円です。保険料を納めるのが困難な方には、免除の制度（任意加入を除く）があります。

保険料の納め忘れは？

Aさんは、ある日の深夜、国道でトラックにはねられ、片足を失いました。さっそく、国民年金の障害年金の支給を申請しましたが却下されました。それは、一年前に加入したAさんが、保険料を二カ月滞納していたためでした。十月は国民年金の保険料を納めているかを調べ、区切りをつける納期です。あなたに、こんな不幸せが訪れないよう、保険料の納め忘れがあるかないか確かめましょう。

〝納税はくらしと市政を結ぶ糧〟